



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2027年3月期 第1四半期決算補足説明資料

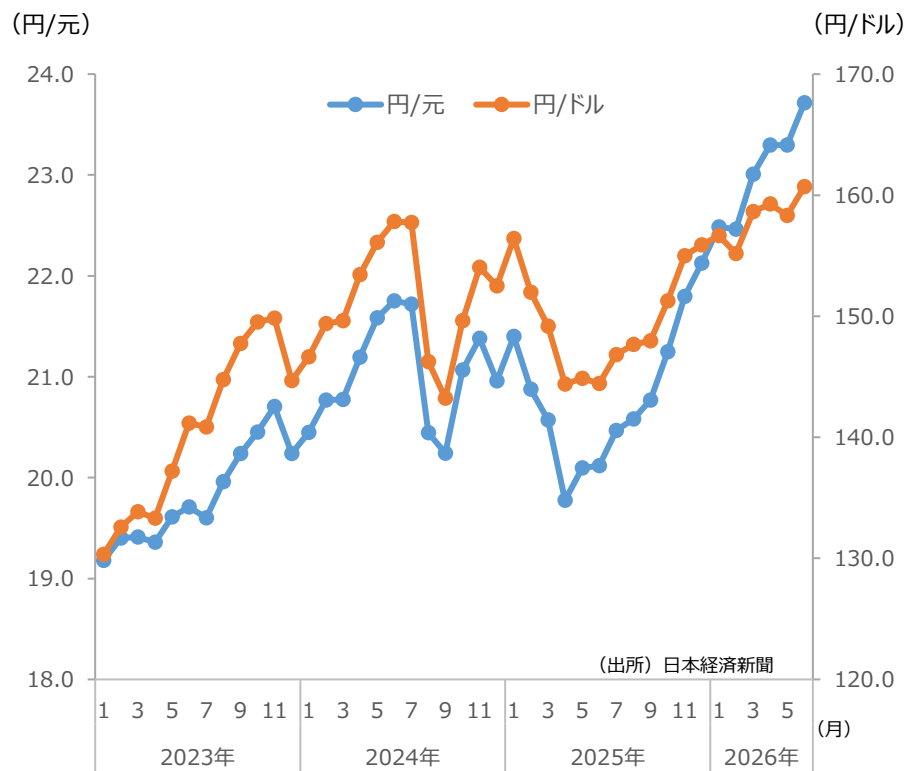
2026年8月7日

- ✓第1四半期の売上高は、中東情勢の影響は軽微
数量ベースは増加基調で推移、価格改定効果もあり、7.1%の増収
- ✓営業利益は、高騰する原材料への対応や価格転嫁を順次進めたことにより、15.7%増益
- ✓経常利益は、為替差損の解消で90.1%の増益

(単位：百万円、円)

	2026/3期 (1Q)		2027/3期 (1Q)		
	金額	前同比 伸び率	金額	前同比 伸び率	上期予想 進捗率
売上高	4,804	+2.7%	5,146	+7.1%	53.1%
営業利益	216	+59.6%	250	+15.7%	62.5%
経常利益	157	▲20.2%	298	+90.1%	74.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	63	▲38.2%	206	+224.8%	76.7%
1株純利益	5.60	-	18.18	-	-
減価償却費	187	▲15.9%	183	▲2.4%	-
研究開発費	79	+15.5%	86	+8.6%	-

為替推移 (左軸:中国元、右軸:米ドル)



米ドルは、日米金利差や我が国の財政政策、さらには中東情勢の緊迫化などにより円安基調で推移

人民元は、中国の貿易黒字拡大などを背景に、円とは対照的に米ドルに対して底堅く推移し円安拡大

円/ドル為替

	1Q	2Q	3Q	4Q	期中平均	期初想定
26/3期	152.6	144.6	147.5	154.2	149.7	150.0
27/3期	156.9				156.9	157.0

円/元為替

	1Q	2Q	3Q	4Q	期中平均	期初想定
26/3期	20.95	19.99	20.60	21.73	20.82	20.70
27/3期	22.66				22.66	22.60

参考

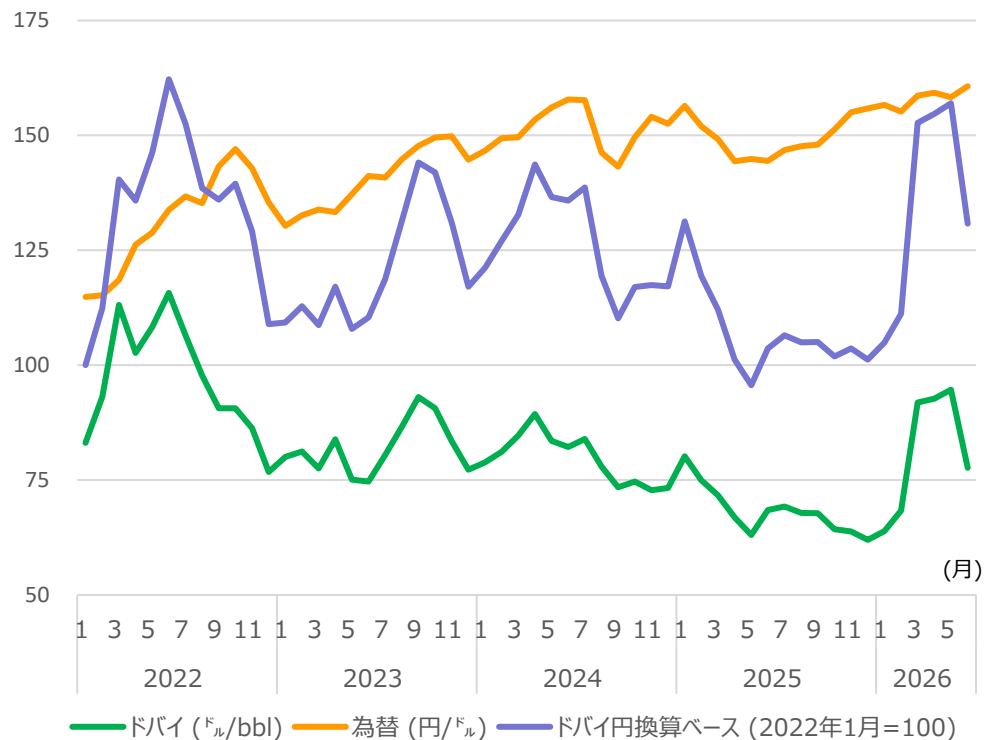
円/VND為替 (1,000VNDあたり)

	1Q	2Q	3Q	4Q	期中平均	期初想定
26/3期	6.131	5.659	5.783	6.068	5.910	6.038
27/3期	6.154				6.154	5.765

原・燃料価格動向

2027/3期第1四半期実績

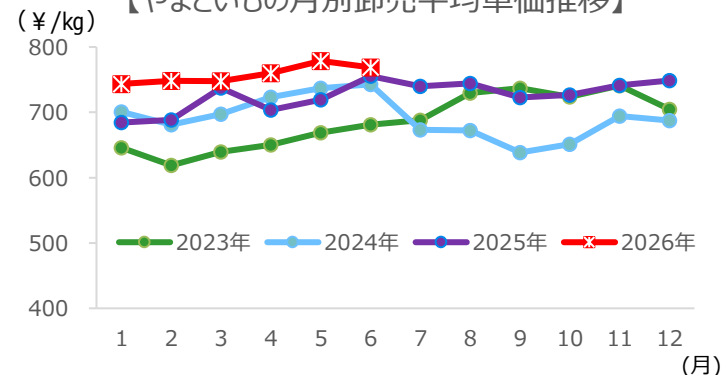
【原油価格推移 (為替影響を反映)】



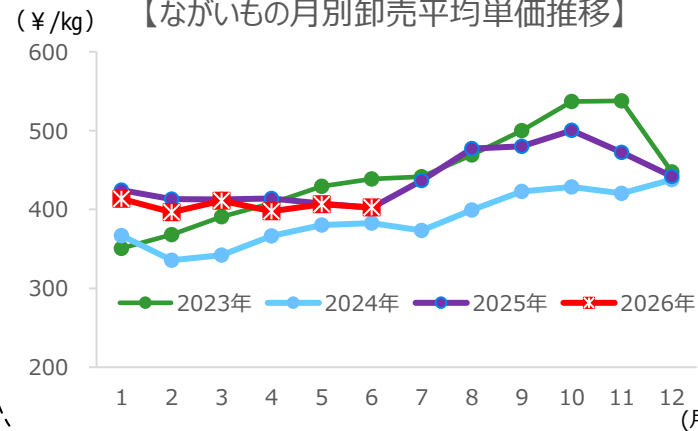
(出所) 日本経済新聞

- ・米国・イラン戦争の暫定和平合意後は原油価格上昇圧力が低下するも、合意破綻で緊張再燃し先行き不透明
- ・円安基調の為替動向も燃料コスト高の重しに

【やまといもの月別卸売平均単価推移】



【ながいもの月別卸売平均単価推移】



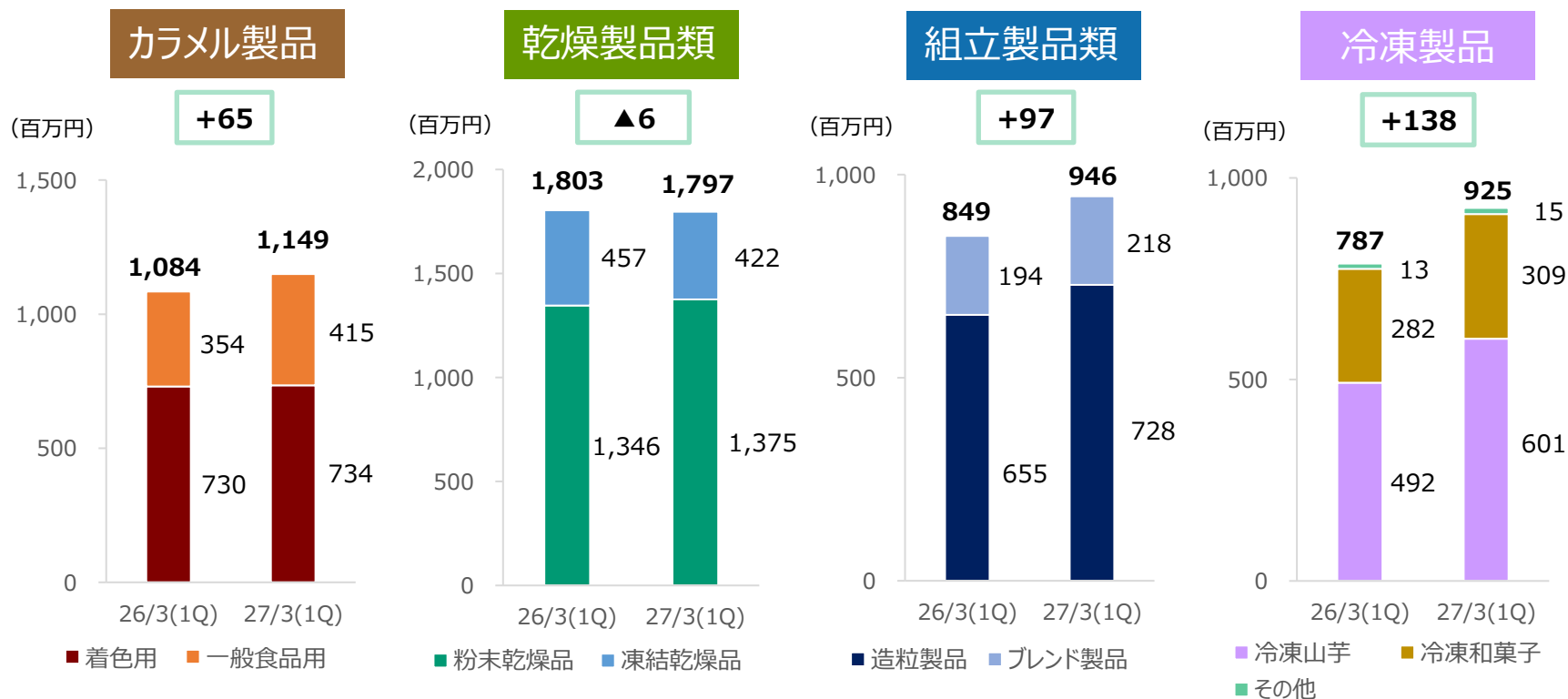
(出所) 東京都中央卸売市場

山芋原料は依然、高値で推移

- ✓ カラメル製品は、着色用は微増も、一般食品用はデザート向けに需要拡大
- ✓ 乾燥製品類は、粉末茶は増収も乾燥野菜の需要減少により前期実績を下回る
- ✓ 組立製品類は、ヘルスケア商材の回復、飲料系ブレンド製品が増加
- ✓ 冷凍製品は、冷凍山芋が好調、冷凍和菓子も堅調に推移し、2桁の伸び率
- ✓ その他は、子会社における受託加工が増加

(単位：百万円)

	2026/3期 (1Q)			2027/3期 (1Q)		
	金額	構成比	前同比 (伸び率)	金額	構成比	前同比 (伸び率)
売上高	4,804	100.0%	+2.7%	5,146	100.0%	+7.1%
カラメル製品	1,084	22.6%	▲0.6%	1,149	22.3%	+6.0%
乾燥製品類	1,803	37.5%	+8.2%	1,797	34.9%	▲0.4%
組立製品類	849	17.7%	+8.8%	946	18.4%	+11.5%
冷凍製品	787	16.4%	▲9.6%	925	18.0%	+17.5%
その他	279	5.8%	+4.8%	327	6.4%	+17.0%
自社商材	3,440	71.6%	+6.7%	3,694	71.8%	+7.4%
受託商材	1,364	28.4%	▲6.2%	1,452	28.2%	+6.5%
海外売上高	126	2.6%	▲59.3%	154	3.0%	+21.9%



一般食品用

- ・アイスやデザート向けに、カaramel顆粒製品の需要増加

着色用

- ・飲料向け需要は前期並み
- ・カレー向けなどで調整
- ・海外子会社増加

凍結乾燥製品

- ・乾燥野菜が減少

粉末乾燥製品

- ・粉末醤油等の調味料類が減少
- ・粉末茶は値上げ効果で増収

ブレンド製品

- ・焼きそばソース向け調整も、飲料系や和風系スープ類が増加

造粒製品

- ・スープ類は調整
- ・ヘルスクエア商材が増加基調

その他

- ・外食向け需要微増

冷凍和菓子

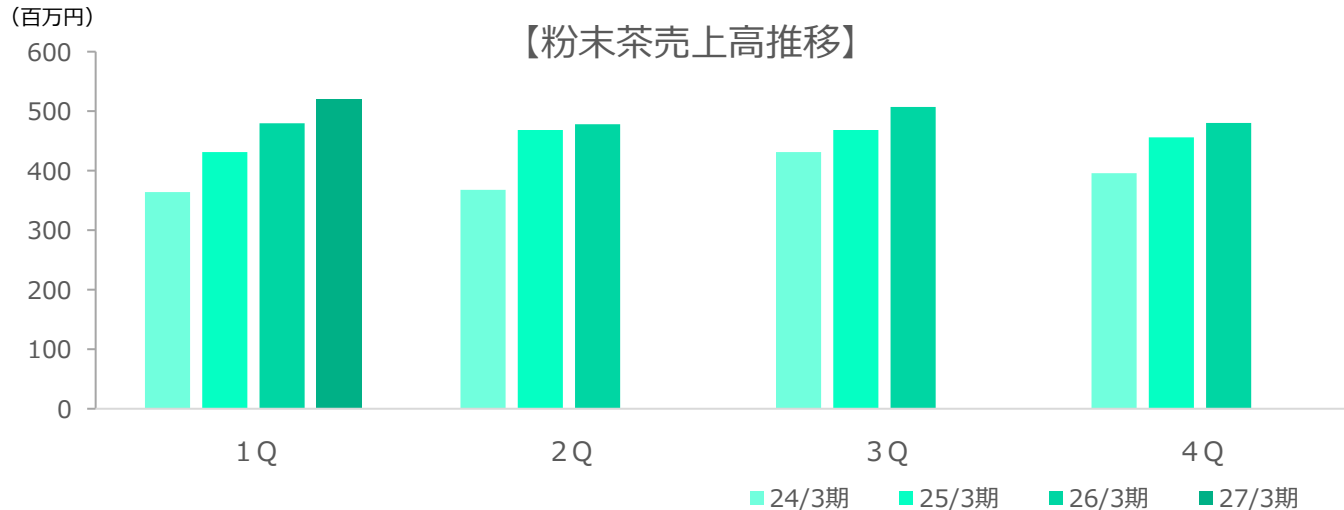
- ・どら焼き・ドームケーキ堅調

冷凍山芋

- ・CVS向けは期間限定商材効果
- ・外食向けは好調維持

①粉末茶

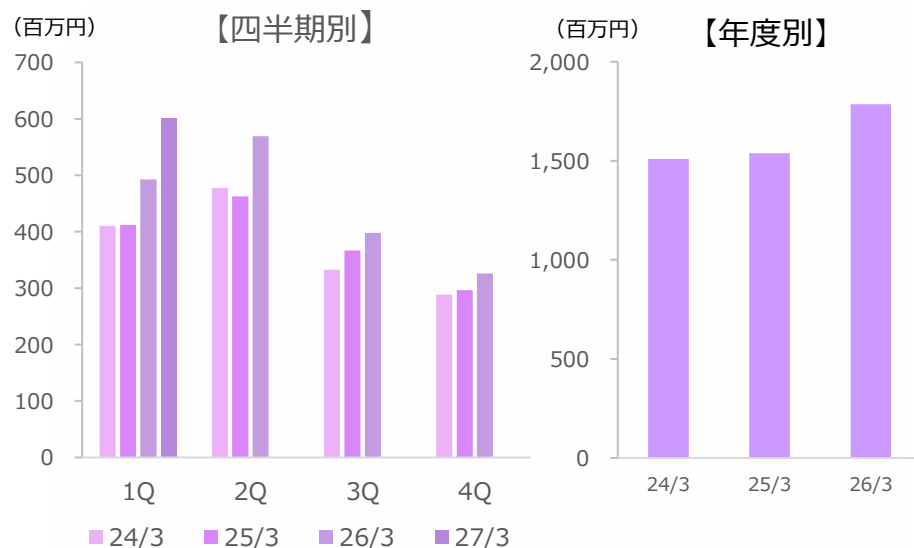
- ✓ 給茶機向けは、5カ月連続で前年同期比2桁の伸び率
- ✓ 原料起因の価格改定進み増収、数量ベースでの影響は軽微



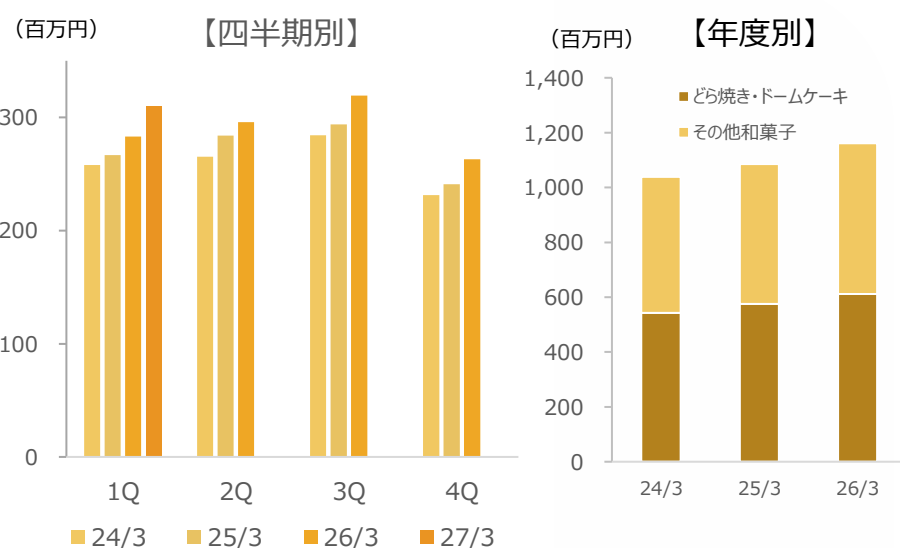
②冷凍製品

- ✓ 冷凍山芋は、CVS及び外食向けが好調に推移し前年同期比22%伸長
- ✓ 冷凍和菓子、継続した新製品投入や提案営業で増加基調

冷凍山芋売上高

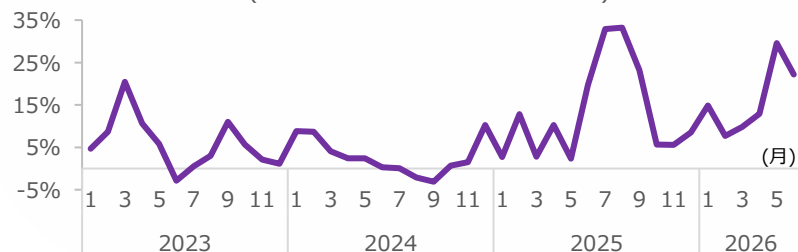


冷凍和菓子売上高



【月次動向】

(3か月移動平均前年同月比伸び率)



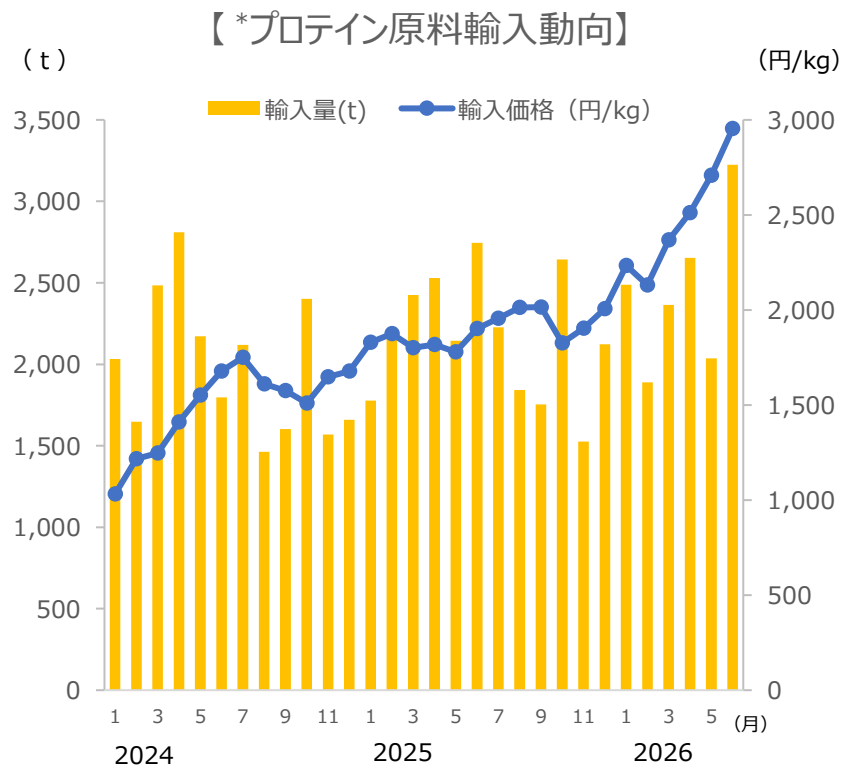
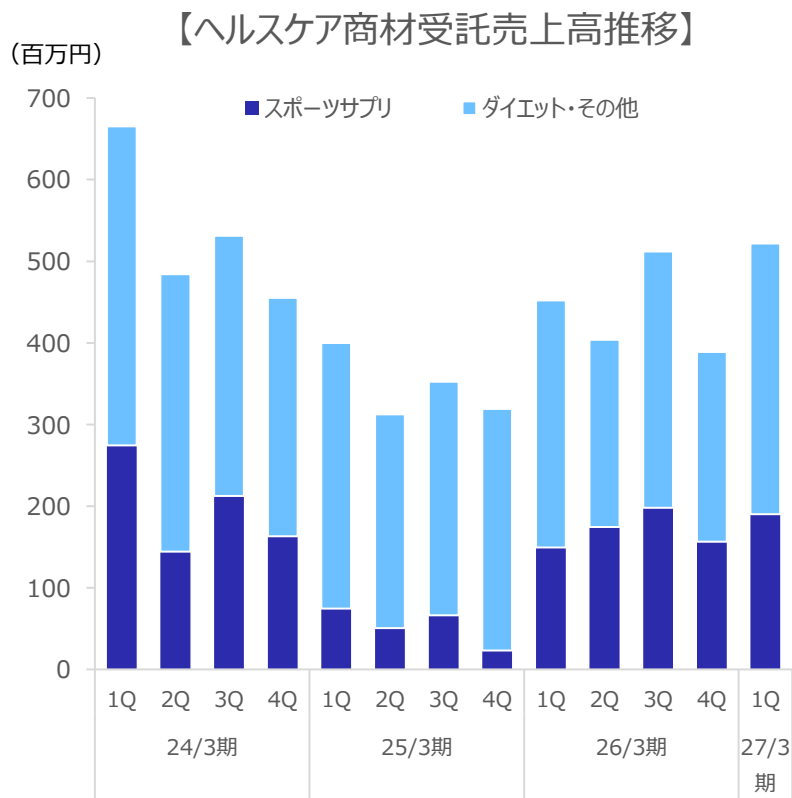
【月次動向】

(3か月移動平均前年同月比伸び率)



③ヘルスケア商材受託

✓ スポーツサプリが回復基調も、プロテイン原料の輸入価格は高値更新続く



(*)プロテイン原料：ミルクアルブミン（2以上のホエイたんぱく質の濃縮物を含む）

(出所) 財務省貿易統計

- ✓製品価格改定や生産効率化などにより原価率上昇幅抑制に努めるも、
原材料および燃料費高によるコスト増で売上粗利率が0.6pt低下
- ✓物流費が上昇も経費削減を推進し販管費率0.9pt圧縮、営業利益率は0.4pt向上

(単位：百万円)

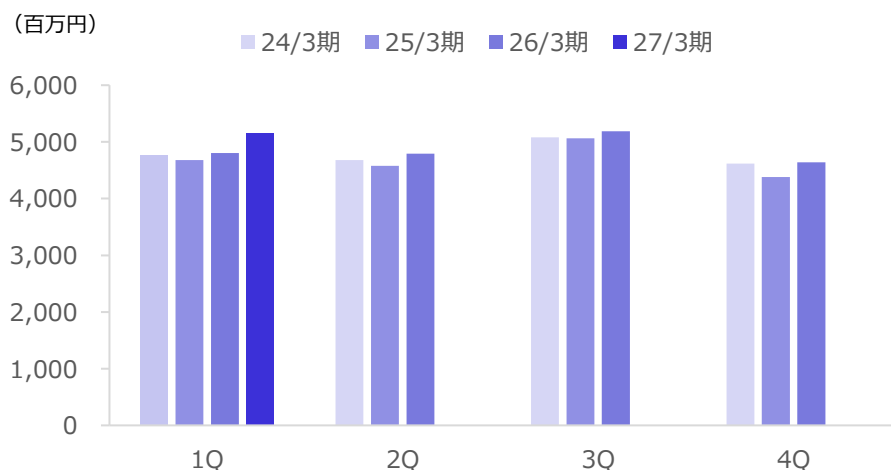
	2026/3期(1Q)		2027/3期(1Q)		
	金額	構成比	金額	構成比	構成比変化
売上高	4,804	100.0%	5,146	100.0%	－
売上原価	3,734	77.7%	4,028	78.3%	+0.6ポイント
売上総利益	1,069	22.3%	1,117	21.7%	▲0.6ポイント
販管費	853	17.8%	867	16.9%	▲0.9ポイント
営業利益	216	4.5%	250	4.9%	+0.4ポイント
営業外損益	▲58	▲1.2%	48	0.9%	+2.1ポイント
経常利益	157	3.3%	298	5.8%	+2.5ポイント
特別損益	－	－	－	－	－
税引前利益	157	3.3%	298	5.8%	+2.5ポイント
親会社株主に帰属する 四半期純利益	63	1.3%	206	4.0%	+2.7ポイント

	(百万円)	
	26/3 1Q	27/3 1Q
営業外損益		
営業外収益	45	→ 65
営業外費用	104	→ 17
(金融収支)	25	→ 31
(為替差損益)	▲79	→ 15

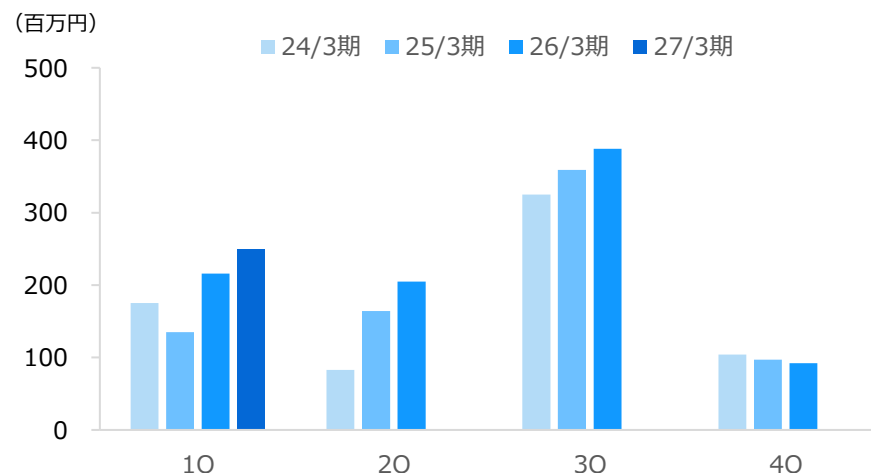
四半期業績推移

2027/3期第1四半期実績

【四半期売上高推移】



【四半期営業利益推移】

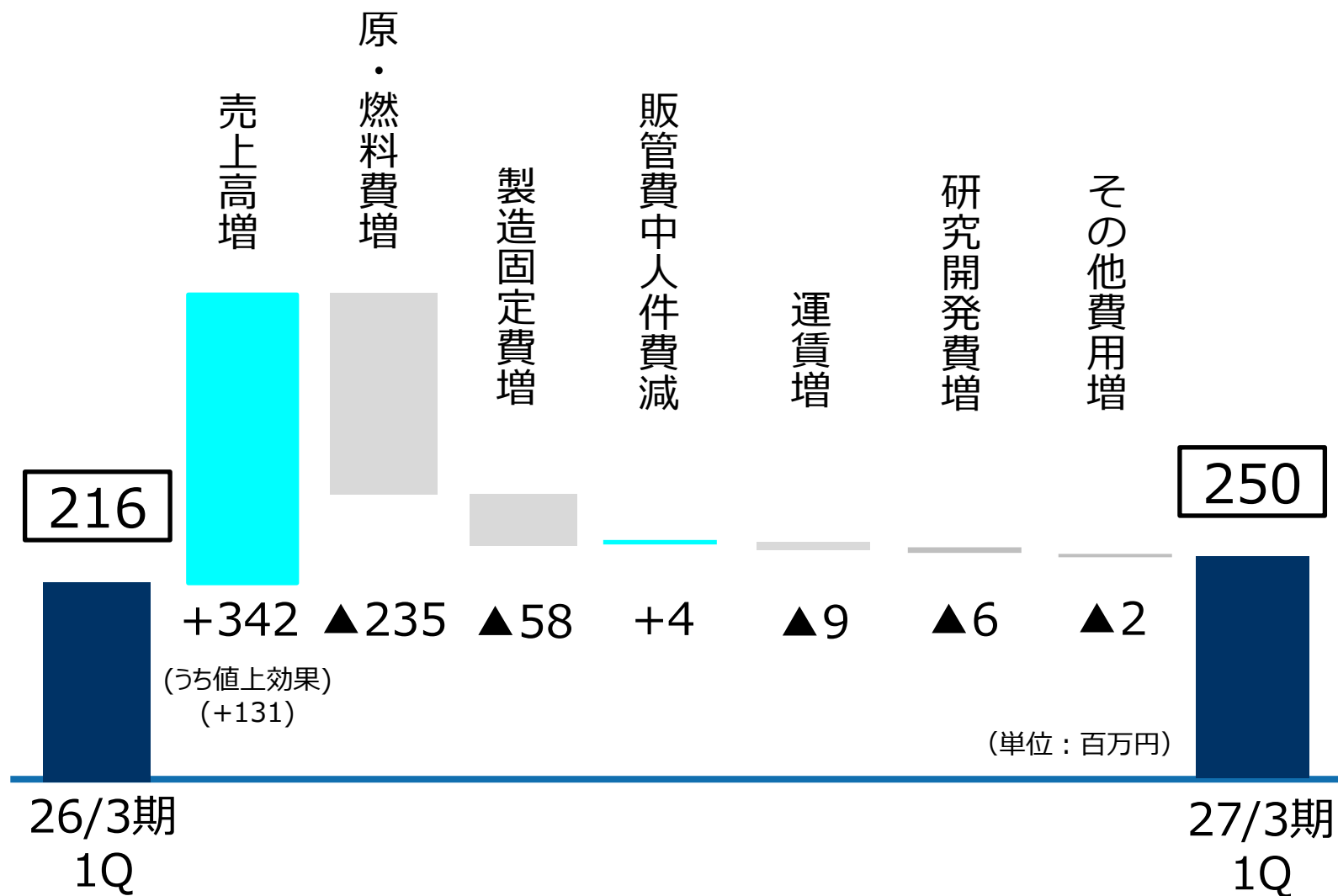


(単位：百万円)

	24/3期				25/3期				26/3期				27/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	4,765	4,677	5,077	4,617	4,677	4,580	5,062	4,381	4,804	4,789	5,189	4,640	5,146
カaramel製品	1,038	1,019	1,176	998	1,091	1,131	1,277	1,017	1,084	1,115	1,258	1,036	1,149
乾燥製品類	1,416	1,495	1,683	1,590	1,667	1,702	1,875	1,708	1,803	1,707	1,864	1,768	1,797
組立製品類	1,007	811	984	960	780	722	910	827	849	770	1,010	893	946
冷凍製品	1,035	1,054	895	796	871	761	672	549	787	877	729	599	925
その他	267	296	338	273	267	262	326	278	279	318	327	342	327
営業利益	175	84	325	105	135	164	359	96	216	205	388	92	250

営業利益増減分析

2027/3期第1四半期実績



要約貸借対照表

2027/3期第1四半期実績

(単位：百万円)

	2026/3末	2026/6末	増減額
流動資産	11,803	12,011	+207
現金及び預金	3,378	3,375	▲3
受取手形及び売掛金※	4,245	4,426	+181
棚卸資産	4,052	4,092	+39
固定資産	9,640	9,517	▲123
有形固定資産	4,764	4,717	▲47
無形固定資産	449	457	+7
投資その他資産	4,426	4,342	▲83
資産合計	21,444	21,528	+83

棚卸資産 **+39 百万円**
 ・商品及び製品 **▲138 百万円**
 ・仕掛品 +37 百万円
 ・原材料及び貯蔵品 +139 百万円

※電子記録債権を含む

流動負債	6,657	6,692	+35
支払手形及び買掛金※	2,304	2,081	▲222
短期借入金	2,823	3,294	+471
固定負債	2,020	2,073	+52
長期借入金	350	387	+37
負債合計	8,678	8,766	+88
純資産合計	12,766	12,762	▲4

有利子負債 **+508 百万円**
 ・短期借入金 +471 百万円
 ・長期借入金 +37 百万円

⇒ 自己資本比率 **59.2%**
 (▲0.3ポイント)

※電子記録債務を含む

中東情勢の影響で原材料・燃料費高や包装資材調達不安などの懸念要因を織り込む

- ✓ カラメル製品は、新製品開発と提案営業推進でデザート向け販売増を計画
- ✓ 乾燥製品類は、粉末茶が堅調、粉末調味料の需要増加を見込む
- ✓ 組立製品類は、ヘルスケア商材受託加工が復調も前期並みを予想
- ✓ 冷凍製品は、冷凍山芋の新製品投入で伸長を見込む、冷凍和菓子は堅調

(単位：百万円)

	2026/3期			2027/3期予想			
	上期	下期	通期	上期(予)	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,594	9,829	19,423	9,700	10,400	20,100	+3.5%
カラメル製品	2,199	2,294	4,493	2,150	2,450	4,600	+2.4%
乾燥製品類	3,511	3,632	7,143	3,500	3,850	7,350	+2.9%
組立製品類	1,619	1,903	3,523	1,600	1,950	3,550	+0.8%
冷凍製品	1,664	1,328	2,992	1,750	1,450	3,200	+6.9%
その他	598	670	1,269	700	700	1,400	+10.3%

- ✓売上高は、提案営業の推進と適正な価格改定を進め3.5%増収を計画
- ✓営業利益は、中東情勢の悪化で利益下押し圧力が高まっているが、
原材料価格高騰への対応や経費削減等を全社一丸で取り組み、5.3%増益を見込む
- ✓経常利益は、為替差損の解消を見込み10.8%の増益を予想

(単位：百万円、円)

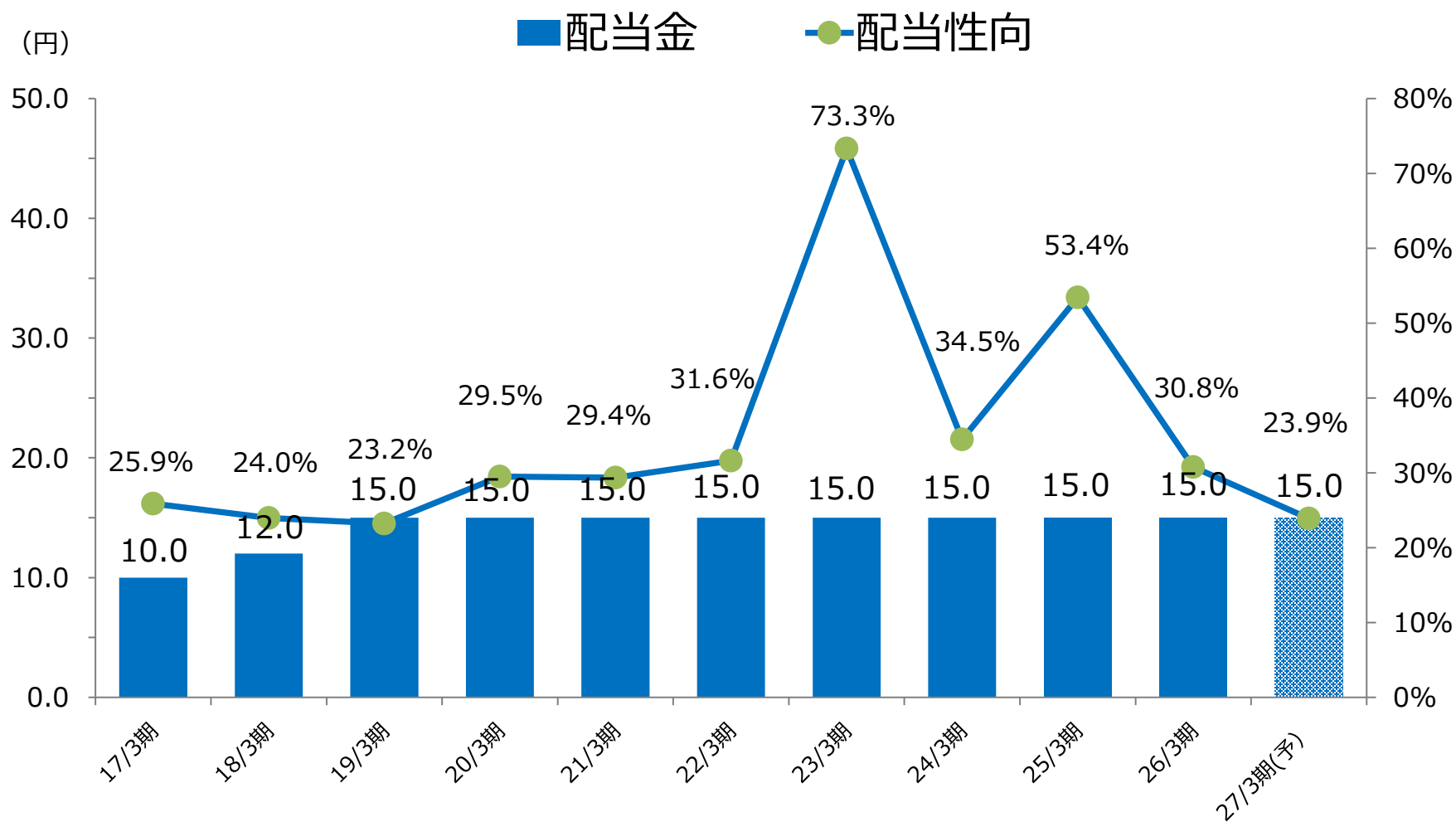
	2026/3期			2027/3期予想			
	上期	下期	通期	上期 (予)	下期 (予)	通期 (予)	伸び率
売上高	9,594	9,829	19,423	9,700	10,400	20,100	+3.5%
営業利益	421	481	902	400	550	950	+5.3%
経常利益	272	593	866	400	560	960	+10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	164	390	554	270	445	715	+28.9%
1株純利益	14.45	34.29	48.74	23.72	39.05	62.77	-
設備投資額							
減価償却費							
研究開発費							

〈為替レート前提〉 26/3期：20.82円/元、149.71円/ドル、 27/3期(予)：22.6円/元、157円/ドル

配当金予想

15円/株を据え置く

【2027/3期予想】



〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。